

モニタリング結果報告書

施設名 : 相模原公園

指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会・株式会社サカタのタネグループ

施設所管課(事務所名) : 厚木土木事務所津久井治水センター

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月20日	
5月	6月10日	6月15日	
6月	7月12日	7月21日	ドッグランパルスと定期会議の開催指示。
7月	8月10日	8月23日	第1回ドッグラン運営等連絡調整会議の開催
8月	9月10日	9月21日	
9月	10月12日	10月18日	

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

上半期の全般取組の中で、特に印象的な取り組みは夏季の新規イベント「食虫植物展」と「夏休み子ども大会」を周辺施設・女子美大との協働企画で実施するなど、提案している参加型公園運営を目指していた。

<提案内容の概要>

「花と緑と文化が薫新たなパークライフの創出」を実現するため、かかげたテーマは、
ア. 花と緑と文化が薫る魅力的な公園づくり イ. 花と緑と人にふれあう快適な生活空間の提供
ウ. 県民の参加と協働による誰からも愛される公園づくりの3点をポイントに前年度からの継続実施事業に加え新規事業の提案があり、花修景による魅力づくりをはじめとした各テーマに沿った事業は、

ア. の具体的事業

- ・クスノキゲート正面に㈱サカタのタネで製作の立体花壇「古城」を5月～9月まで設置し、ウエルカムガーデンとして利用者が写真撮影などできる場所の提供した。
- ・水無月園周辺の未利用地に里の花の代表であるヒガンバナ8000株を植栽の提案した。

イ. の具体的提案

- ・サカタのタネグリーンハウス内の展示やイベントを充実させるとともに環境にやさしいサンパチェンスなどの花植栽の提案した。

ウ. の具体的提案

- ・ガーデニングをベースに、花と野菜を使った「食と緑のサンプルガーデン」の試行とボランティアとの協働を目指した事業の提案した。

エ. その他の利用促進の実施

- ・夏期の公園利用者増を図るため、「食虫植物展」と「夏休み子ども大会」の広報や内容について女子美術大学の学生と協働による企画立案による事業の実施した。

<実施状況>

7月 水無月園の景観整備 しょうぶ田の整備とヒガンバナ8000株の植栽実施

8月1日 夏休み子ども大会 参加者 2,500名

8月中 食虫植物展の実施 参加者 3,552名

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	236,200	221,000	5,600	9,600	233,620	0
上半期計 (a)	124,747	118,118	2,188 (2,629)	4,441 (4,944)	122,065	2,682
下半期計 (b)						
4月	20,481	19,013	367 (548)	1,101 (1,385)	15,728	4,753
5月	25,785	23,258	686 (684)	1,841 (1,303)	23,273	2,512
6月	24,143	22,737	477 (591)	929 (874)	23,293	850
7月	21,011	20,777	234 (279)	0 (0)	22,501	△ 1,490
8月	16,814	16,540	274 (177)	0 (0)	17,299	△ 485
9月	16,513	15,793	150 (350)	570 (1,382)	19,971	△ 3,458
合計 (a+b)	124,747	118,118	2,188 (2,629)	4,441 (4,944)	122,065	2,682

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	376,397人	430,918人	△12.7%
下半期計 (b)	0人	0人	
4月	55,072人	78,951人	△30.2%
5月	110,681人	75,713人	46.2%
6月	104,118人	115,890人	△10.2%
7月	37,516人	59,606人	△37.1%
8月	39,361人	44,972人	△12.5%
9月	29,649人	55,786人	△46.9%
合計(a+b)	376,397人	430,918人	△12.7%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

上半期は、4月に入って雪が降るなど桜の開花後にも寒い日があり、利用者の出足が滞る天候不順から始まり、5月に入り利用者の増加がみられたが、しょうぶの見ごろである6月には土曜・日曜に行楽日和となる日が少なかった。また、夏期の猛暑は予想をはるかに上回ることでとなり、9月も暑さが続いたことから利用者の減少が著しかった。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月		1		1		2
5月	1	1		1		3
6月						0
7月	1					1
8月	1	1				2
9月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

犬の放し飼いについて毎回苦情があり、指定管理者はその都度注意しているが、見ていないところで放し飼いを行うため、注意がいたちごっこの状況に陥っている。

自転車の園内乗り入れについても数件の苦情が寄せられたが、園内注意看板を各入口に設置し注意を促したところ、自転車乗り入れの件数に減少がみられ改善傾向にある。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
職員対応	・	
事業内容	・	
その他	・犬の放し飼いを早朝に行い、他の公園利用者からクレームが寄せられた。対象者に注意を促したところ、ドッグランを登録制でない方法で開放してほしいという要望が出た。	早朝の状況調査を行い、警備及び職員によるリード装着についての声かけを徹底。対象者より、ドッグランの開放を求められたが、リード装着区域でのノーリードについては、引き続き注意を徹底。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>①上半期の公園利用状況は、天候不順の要素がかなりの割合で影響したと思われる。4月、6月の雨による利用者の減少に加え、7月～9月は猛暑による利用者の減少等やむを得ないところもあったが、夏休み中は小学生をターゲットに「夏休み子ども大会」と、サカタのタネグリーンハウスの食虫植物展を女子美術大学メディア学科の学生とコラボレーション企画し、楽しみながら学べる環境を充実させ、さらに異例の食虫植物を約1カ月の長期展示とし、利用者の増大を図った。</p> <p>②犬のノーリード行為に対して、警備員と連携を図りながら、早朝や夕方の巡視を行い、対象者に注意を促したが、見ていないところでノーリードにしている実態は否めないため、今後も早朝や日没後の状態を把握しながら、状況に応じた対策をとっていく必要がある。</p> <p>③ハナショウブのあとの水無月園の景観や利用者の誘導として、「ヒガンバナ」の植栽を行い、未利用地の景観整備を行った。</p>
施設所管課	<p>①天候状況が不順であったが、イベントの企画内容及び開催期間を調整することによって、来園者の増大を図った。</p> <p>②犬のノーリード行為は、飼い主のモラルの問題で辛抱強く対応していかなければならない。</p> <p>③未利用地の景観整備を行うことにより、来園者の新たな誘導が追加され利用の増大が図られた。</p>